

絵仏師良秀（文法）

これも今は昔、絵仏師良秀といふありけり。家の隣より火ア出で来て、風おしおほひてイせめければ、逃げ出でて、大路へウ出でにけり。人の書かする仏もおはしけり。また、衣エ着ぬ妻子なども、「さながら内にありけり。それも知らず、ただ逃げ出でたるをカことにして、向かひのつらに立てり。見れば、すでにわが家に移りて、煙・炎くゆりけるまで、おほかた、向かひのつらに立ちて、眺めければ、「オあさましきこと。」とて、人ども来とぶらひけれど、さわがず。「いかに。」と人言ひければ、向かひに立ちて、家の焼くるを見て、うちうなづきて、時々笑ひけり。「あはれ、しつるニせうとくかな。三年ゴろはカわろく書きけるものかな。」と言ふときに、とぶらひに来たる者ども、「こはいかに、かくては立ちたまへるぞ。マあさましきことかな。ものつきたまへるか。」と言ひければ、「なんでふものつくべきぞ。年ゴろ、不動尊の火炎をキあしく書きけるなり。今見れば、かうこそ燃えけれど、心得つるなり。これこそせうとくよ。この道を立てて世にあらむには、仏だによく書きたてまつらば、百千の家も出で来なむ。わたうたちこそ、させる能もおはせねば、ものをも惜しみたまへ。」と言ひて、あざ笑ひてこそ立てりけれ。

そののちにや、良秀がよぢり不動とて、今に人々クめで合へり。

問一 傍線部Ⅰ～Ⅴの意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 近年 イ 長年 ウ もうけもの エ 一部
オ そのまま カ ほめる キ けなす ク あきれる

問二 傍線部ア～キの活用の行・種類を答えなさい。

問一	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
	Ⅳ	Ⅴ	
問二	ア	イ	ウ
	エ	オ	カ
	キ		
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()

問三 次の活用表を完成させなさい。（平がなで書くこと）

	基本語	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
①	出で来						
②	着る						
③	あさまし						
④	わろし						
⑤	見る						

問一	ー	オ	ロ	ウ	目	イ
問二	ニ	ク	△	カ		
ア	（カ行変格活用					）
イ	（マ行下二段活用					）
ウ	（ダ行下二段活用					）
エ	（カ行上一段活用					）
オ	（シク活用					）
カ	（ク活用					）
キ	（シク活用					）

⑤	④	③	②	①	
見る	わろし	あさまし	着る	出で来	基本語
み	くから	しくしから	き	こ	未然形
み	くかり	しくしかり	き	き	連用形
みる	し	し	きる	く	終止形
みる	きかる	しきしかる	きる	くる	連体形
みれ	けれ	しけれ	きれ	くれ	已然形
みよ	かれ	しかれ	きよ	こよ	命令形